

実験で爆音 生徒ら耳に不調

加東市立滝野中学校（同市下滝野）で1年生の理科の授業中、水素を扱う実験で爆音が発生し、生徒38人のうち耳に違和感を訴えた18人が病院で診察を受けていたことが19日、分かった。いずれの生徒にも異常はなかったと

加東の中学 理科授業、教頭が操作誤る

いう。同校などによると14日午前11時半ごろ、若手の理科教諭をサポートしていた教頭(51)が空き缶に水素と酸素を注入し、火を近づけて音を鳴らそうとしたところ爆音が発生した。「耳がおかしい」と訴

えた生徒18人に養護教諭が聴力検査を実施。うち7人が聞き取りにくかったため、全員を病院へ連れて行ったという。

同校は校長と教頭が18人の家庭を訪問して謝罪。後日、他の20人にも聴力検査を行い、教頭が生

徒宅に電話で事情を説明した。教頭は現在も耳に違和感があるといい「水素の量が多くなってしまった」と説明。同校は「安全に配慮し、二度と起きないように注意する」としている。

(桑野博彰)



加藤市立滝野中学校 教頭に連絡をとりましたところ、実験には350mlのアルミ缶、水素ガスボンベ、酸素ガスボンベを使用したことを確認しました。同校では水素に関する研究会があり、定期的に爆鳴実験などを行っています。

MiZ 株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-19-15

TEL: 0467-53-7511 FAX: 0467-53-7510